

例会のお知らせ

8月の例会

昭和36年8月25日(金)10時より 気象庁研修所(千葉県柏市豊四季, 常盤線柏駅より10分)にて (要旨は32頁)

第1部 一般研究発表

鈴木清太郎(気象庁研修所): 風穴における盛夏の氷結の成因について

第2部 第6回気象学史と気象教育

1. 渡辺次雄(気象庁研修所): 藤原映平の学的系譜—日本気象学と外国気象学の交渉(6)—(20分)
2. 奥田穰(気研台風): 「古風土記」に現われた古代日本人の災害観(20分)
3. 当倉万寿夫(気研台風): ロシア気候学者ワイコフの日本紀行(20分)
4. 渡辺和夫(気研台風): 飛行機による気象観測の変遷(20分)
5. 根本順吉(気象庁長期予報): シーボルト台風(20分)
6. 根本順吉(気象庁長期予報): 日本の観測者について(20分)
7. 堀内剛二(気象庁研修所): 幕末明治初頭における地球物理学の系譜(20分)
8. 荒井隆夫(気象庁統計): 武鑑からみた江戸時代の農業災害(20分)

9. 東京理科大学気象研究部: 新制大学のサークル活動としての気象研究について(20分)
10. 伊藤良夫(芝浜中): 理科教育の中の気象の扱い方について(20分)
11. 外ノ池善一(九段中): 中学校における気象教育について(20分)
12. 白岡久雄(気象庁予報): 科学技術振興のための科学技術教育(20分)
13. 白岡久雄(気象庁予報): 国営移管の周辺(20分)

— ◇ —
シンポジウム: 気象事業の国営移管について

風に関するシンポジウム講演募集

風に関するシンポジウムが地理, 土木, 地震, 海洋, 火災, 建築, 航空, 林の各学会と共催で下記のように開かれます。講演希望者は学会所定の申込用紙に講演題目, 所要時間, 要旨を記入して御申し込み下さい。

会期: 昭和36年11月13日(月), 14日(火)

会場: 農業技術研究所講堂(東京都北区西ヶ原2の1)

〆切: 9月30日

宛先: 東京都千代田区大手町 気象庁測器課 清水逸郎

昭和36年度例会

例会は第1部と第2部とから成っています。

第1部 一般研究発表

第2部と同日に行ないますから講演題目, 要旨, 所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して下記へ申し込むこと。

宛先 東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎

第2部 選定題目講演会

次のスケジュールに従って行われます。

名 称	日時	申 込 締 切 日	受 持 委 員 其 他
山の気象	6月	4/30日	高層課: 大井
乱流と低層気象	6月	4/30日	測器課: 竹内
高層気象	7月	5/31日	高層課: 大井
梅雨について (数値予報・綜観気象)	7月	5/31日	研究所: 松本 予報課: 石原
気象学史と気象教育	8月	6/30日	研修所: 渡辺
生気候	9月	7/17日	研究所: 神山
大気汚染	9月	7/31日	研究所: 神山
気象災害	10月	8/31日	研究所: 渡辺
台風について (数値予報・綜観気象 ・災害・レーダー)	11月	9/30日	研究所: 松本 予報課: 石原 研究所: 渡辺

名 称	日時	申 込 締 切 日	受 持 委 員 其 他
風のシンポジウム	11月	9/30日	測器課: 清水
気象電気	12月	10/30日	研究所: 今井
気候	1月		長期予報: 朝倉
太陽活動	1月		長期予報: 朝倉
気象統計	1月		長期予報: 朝倉
観測と測器	2月		測器課: 清水
大気大循環	2月		予報課: 石原
長期予報	2月		長期予報: 朝倉
前線について (綜観気象・レーダー)	3月		予報課: 石原
航空気象	3月		東京航空: 上松